

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はソリューションをとき仮想な監視プログラムモジュール (VSM) 誤って削除される記述したものでおよび分散バーチャルスイッチ (DVS) は Cisco Nexus 1000V vCenter で表示する続けます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

VSM は DVS が取除かれた前に誤って削除されました。 DVS は vCenter から VSM が削除される前に段階的に取除く必要があります。

解決策

このソリューションを使用して、問題を解決してください。

1. 一時 VSM を展開して下さい。
2. スタートアップ コンフィギュレーションを復元する (または少なくとも前のスイッチ名前を復元する) 。
3. 新しいコントロール プロセッサ (CP) を持つために **vmware VC 拡張キー <extension-id>** コマンドを接続します電流 DVS に入力して下さい。このコマンドの拡張 ID は DVS に結ばれる同じものであるはずですが。これら二つのメソッドの 1 つの拡張 ID を見つけることができます:**方法 1**vCenter では、ネットワークング ビューへのナビゲート。右のペインで、DVS を選択して下さい。サマリ タブをクリックして下さい。拡張 キーは注釈の下でリストされています。**方式 2**vCenter の暴徒に行くために、[https:// <VC_IP_ADDR>/mob](https://<VC_IP_ADDR>/mob) に参照して下さい。rootFolder "group-d1" に行ってください。データセンター ID が含まれている「childEntity」からのデータセンターを見つけて下さい。データセンターをクリックする時 (、名前をそれと関連付けられて検索します。) データセンターから、ネットワーク フォルダに行ってください (たとえば、"group-n6") 。ネットワーク フォルダから、子 エンティティを選択して下さい (たとえば、"group-n373") 。childEntity で、DVS をクリックして下さい (たとえば、"dvs-7") 。拡張 キーは DVS 構成アトリビュートの下でリストされています。
4. VSM に拡張 ID を割り当てるために **vmware VC 拡張キー <extension-id>** コマンドを入力して下さい。
5. CP の新しい拡張 キーを確認するために**提示 vmware VC 拡張キー** コマンドを入力して下さい。
6. VSM を保存し、リポートして下さい。
7. これらのステップの暴徒 (登録解除 拡張 API) との VC の拡張 キーを削除して下さい:**拡張機能マネージャー**に行くために、[https:// <VC_IP_ADDR >/mob/](https://<VC_IP_ADDR >/mob/)に参照して下さいか。moid=ExtensionManager。登録解除 拡張 ([https:// <VC_IP_ADDR >/mob/](https://<VC_IP_ADDR >/mob/)をクリックして下さいか。moid=ExtensionManager&method=unregisterExtension) 。**recover>** (DVS に接続される拡張 キー) に **DVS のための Cisco_Nexus_1000V_ <Key** を入力して下さい。**起動する 方式**をクリックして下さい。
8. 拡張 キーを再登録して下さい。ブラウザによって XML ファイルを得る場合、XML ファイルをダウンロードする前にブラウザをリフレッシュして下さい。
9. 拡張プラグインを再登録して下さい。
10. サーバ 仮想化 スイッチ (SVS) 接続特性を設定して下さい (たとえば; VC IP、ポート、データセンター名前) 。
11. SVS 接続への接続応答。
12. VSM の SVS コンテキストから、**vmware dvs** を段階的に DVS を取除くために命じます入力しないで下さい。
13. DVS が vCenter から取除かれることを確認して下さい。
14. 一時 VSM を削除して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)